

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	企業との連携を通じた環境成長要因の分析活用事業		担当部局庁	総合環境政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成24年度		担当課室	環境計画課環境経済政策調査室		環境経済政策調査室長 山本 博之		
会計区分	一般会計		政策・施策名	9 環境政策の基盤整備 9-3 環境問題に関する調査・研究・技術開発				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)において、環境分野が我が国の強みを活かす成長分野の一つに位置づけられているように、環境分野が新たな成長を牽引することが強く期待されている。こうした「環境と成長の両立」を実現するため、企業や産業界と緊密に連携しながら、環境ビジネスの成功要因の分析、環境ビジネス振興のための支援策の検討等を行い、その成果を広く共有し、企業の実務・経営判断や環境政策に活用することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	環境分野別・環境産業の属性別(消費財・資本財・中間財・輸出財)に、環境ビジネスのベンチャー企業や先進企業を抽出し、当該企業へのヒアリング等を通じその成功事例を収集・整理し、各事例から共通する環境ビジネスの成功要因やビジネス上の障壁及びその克服策、成長を促進するための取組について分析を行う。その上で、環境ビジネス関連企業や有識者等の意見を採り入れつつ、今後の成長が期待される環境ビジネス分野や環境ビジネス振興のための支援策を検討する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算		10	6			
		繰越し等		0	0			
		計		10	6			
	執行額			13	26			
	執行率(%)			130%	471%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	環境ビジネスの実態を把握・分析し、その成果を広く企業の実務・経営判断や環境政策に活用することを目的としているため、定量的な成果目標の設定は困難		成果実績		—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	環境ビジネスの実態を把握・分析し、その成果を広く企業の実務・経営判断や環境政策に活用することを目的としているため、定量的な活動指標の設定は困難		活動実績 (当初見込み)		(—)	(—)	(—)	(—)
単位当たりコスト	— (円/)		算出根拠	定量的な成果実績及び活動実績が示せないことから算出できない。				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
		—	—					
	計	—	—					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国 必 費 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	環境分野については、新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)において、環境分野が我が国の強みを活かす成長分野の一つに位置づけられているように、環境産業が新たな成長を牽引することが強く期待されている。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	受託者の選定にあたっては、企画競争を実施し競争性を確保するとともに、事業完了後に精算行為を行うことにより支出の透明性を確保。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本事業で実施した成果は、対外的に公表し、今後の成長が期待される環境ビジネス分野や環境ビジネス振興のために効果的に活用。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	<p>本事業の支出の透明性を確保するため、予算要求の段階から委託費で予算要求を実施。 本事業で実施した成果は、対外的に公表し、今後の成長が期待される環境ビジネス分野や環境ビジネス振興のために効果的に活用。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
—						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	—	平成23年	新23-013	平成24年	281	

【環境省】
26百万円



【総合評価・委託】
A. 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
26百万円

環境ビジネス関連企業や有識者等から環境ビジネスに関する具体的な情報を得つつ、環境ビジネスに役立つ「実学」の立場に立って、環境産業の市場規模の変化の要因及び現状の市場動向に関する分析や、環境ビジネス関連企業における環境ビジネスの成功要因の分析を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	人件費	21.6			
諸謝金	委員・ヒアリング謝金	1.1			
旅費	委員・ヒアリング旅費	1.0			
印刷製本費	報告書印刷費	0.1			
その他	研究会会場費・会議費・雑役務費	0.2			
受注者負担分		▲ 1.4			
一般管理費		2.3			
消費税		1.3			
計		26.2	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱	平成24年度環境産業の市場規模推計及び環境ビジネスの振興方策検討等委託業務	26.2	3	87.5